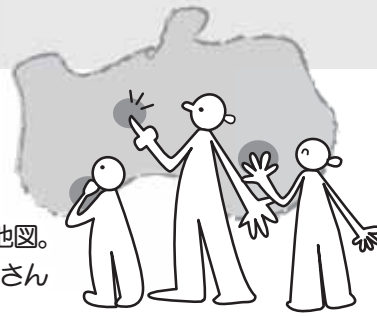


やさしさ情報 ねりまっぷ・ミニ 完成!!

「ねりまっぷ」は高齢者、障害者、小さいお子さん連れの方などが外出される際に役立つ福祉情報地図。今回の「ミニ版」はさらに気軽に楽しんでもらえるような身近な地域の特徴を活かし、地域の皆さん自身が必要とする情報が追加された地図を、新たに作成する企画です!



手づくり地図の道のり

10月 公開審査会

各グループごとに地域の地図づくり活動の提案があり、助成の審査がありました

11月 <第1回> 講習会

「実践+マップ作成計画を立てよう!」

- ミニ講義「マップを作るにあたって」
 - ・地図制作のポイント
 - ・地図のいろいろ
 - ・情報収集のワザ
- マップづくり実践
 - ・作戦会議
 - ・まちあそび
 - ・マップ作成
- 本番の地図づくりの作戦会議

各グループで材料集め

12月 <第2回> 講習会

「地図の描き方の基礎+レイアウトの作成」

- おさらい「地図の描き方のポイント」
- レイアウト案の作成
- マップの作成
- テキスト原稿を作ってみよう

各グループで地図・テキスト原稿作成

デザイナーさんに提出



3月 地図完成、納品配布

地図づくりをはじめる前に

何を伝えたいですか?

素敵な地図をつくる上で一番重要なことは「地図を上手に描くこと」ではなく、地図を使って「何を伝えたいか?」を見つめ直すことです。

伝え方を考えよう

「なにが×どこに」

- ・わかりやすく魅力的にできるか?
- ・伝えたい情報の編集

「どこからどこまで×なにが」

- ・ルートに沿って実際に歩くことを考える
- ・迷わせてはいけない

地図の表現方法

- ・情報の優先
- ・地図の表示では「実際に地図を手にした人」にとって重要な要素を押さえる
- ・写真は「どういう情報が写っているか?」

地図の行方…誰から誰へ?



伝えたいのは・・・



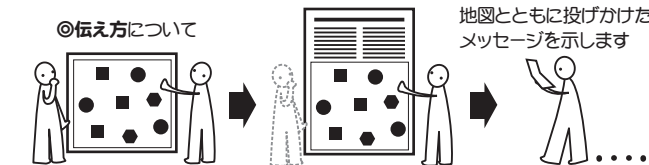
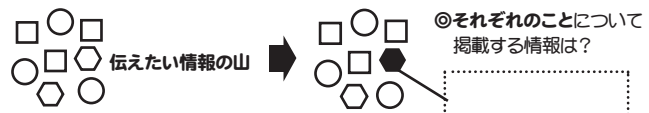
お店のコーヒーのおいしさ?

OR



お店の外観の素晴らしさ?

情報の整理と編集



向山・貫井子育て支援マップ

向山・貫井周辺

向山・貫井民生児童委員協議会マップ委員会

〇活動報告

- ・以前A4版の地図を1500部作って好評だったが、今回は表紙にいわさきちひろ美術館から提供された絵を使用することができ、さらに見て楽しいマップを作れた。
- ・マップの中の写真にはメンバーの家族も参加しており、盛りだくさんのわかりやすい情報を載せることが出来たと思っている。これから配って、ひとりでも多くの子育て中のお母さんに喜んで頂けたらと思っている。

向山貫井子育て支援マップ

向山・貫井周辺

〇活動報告

- ・以前A4版の地図を1500部作って好評だったが、今回は表紙にいわさきちひろ美術館から提供された絵を使用することができ、さらに見て楽しいマップを作れた。
- ・マップの中の写真にはメンバーの家族も参加しており、盛りだくさんのわかりやすい情報を載せることが出来たと思っている。これから配って、ひとりでも多くの子育て中のお母さんに喜んで頂けたらと思っている。

向山・貫井民生児童委員協議会マップ委員会



健康ウォーキングマップ

向山・貫井周辺

歩いて地域をみつめる会

だれでもたのしい健康ウォーキング

豊玉・中村周辺

歩いて地域をみつめる会

〇活動報告

- ・メンバーが豊玉地区の60歳以上の人がほとんどで、地域を歩いてみよう、歩いてみないと地域に何があるか分からないということでも12日間ほど歩いてみた。
- ・ねりコレと文化財をいろいろ探して、3つのコースを作ったので、これを見ていろいろご意見を頂けるとありがたい。

子育てバリアフリーマップ

谷原・三原台周辺

谷原・三原台の子育てを応援する会

〇活動報告

- ・谷原・三原台・土支田周辺の子育てに役立つ情報を子育て中のお母さんが集まって、子育てバリアフリーマップを作った。準備のために、まち歩きや勉強会、意見交換をして、子育て中に必要な情報、地域のお勧め情報、危険箇所の情報なども聞いたりすることが出来た。
- ・地域の児童館や、幼稚園で子育てバリアフリーに関するアンケートを実施し、出来る限りマップに反映させていった。
- ・乳幼児の設備に関する用語とかピクトグラム(図記号)を統一してもらうような動きかけも今後は必要ではないかと思っている。

子育てバリアフリーマップ

谷原・三原台・土支田周辺



楽しく子育て一緒にあそぼ!

一審査委員による総合コメント

- ・どういう人たちがどういう思いでやっているか、もう少し見ると良かった。この地図を手渡すときに、どういう事をしているのか伝えていく事が課題である。
- ・ちひろさんの絵を入れて頂いたのは非常に良かった。練馬の顔のひとつであり、そこに交渉によって、5000円の掲載料で掲載を勝ち取ったというのは素晴らしい事である。
- ・この地図を活用したい方に、どうやって配布できるかが大きな課題だと思っている。区の施設も利用して頂きたい。
- ・民生児童委員の方が作って下さったマップについて、民生児童委員の方が作ったということが非常に大切だと思う。

特に引越されてきた子育て家庭には、このマップを持って伺い、コミュニケーションを図ること等を検討して頂きたい。

- ・第一段階で調べることは大事であるが、次の段階でその人しか見つけられないこと、その場所で考えることを地図に落とししていくと、大変面白い地図になる。
- ・携帯電話やパソコンからアクセスできるような形で、多様な見方ができるようなスタイルを確立できれば、いろいろな活動をして頂いたことが活きるのではないかなと思う。

デザイナー 松井 雄一郎さん

地図のデザイン・制作研修講師

細やかで愛のあるまちの情報がどっさり収集されてきた日の驚きと緊張。これをまちに返したい、誰かに届けたいという熱い想いに伴走できてよかった。出来上がったマップは、まさに今皆さんが暮らしている地域の風景ですね。身の回りに丁寧に目を向けること、本当に必要な情報を整理すること、伝える相手の身になって考えることの大切さを再認識しました。



NPO法人 まちしゅう 坂本 千晴さん

地図作成にかかるコーディネート

今回、研修や作業過程に伴走役として2年間かかわらせていただきました。「お母さん、子どもと一緒にまちに出よう!」「もっとまちを歩くことからまちを知って!」といったメッセージを一つのかたちにまとめ、伝える作業から得たことは大きい!デザイナーなど専門家との協働作業から得られたことも大きい!この成果をやさしいまちづくり全体にもっと広げていきたい!そんなことを強く感じる今日この頃です。

